

宮城県感染症発生動向調査情報

2023.4.24 ~ 2023.4.30 - 第17週 -

令和05年05月09日発行

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所					仙台市	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計	第14週	第15週	第16週	第17週
水痘						6 0.22	6 0.11	62				
流行性耳下腺炎			1 0.17				1 0.02	23				
感染性胃腸炎	27 6.75	39 3.90	24 4.00	20 3.33	1 0.50	134 4.96	245 4.45	6,405	◎	◎	◎	◎
手足口病						1 0.04	1 0.02	12				
伝染性紅斑						2 0.07	2 0.04	14				
突発性発しん	2 0.50	1 0.10	1 0.17	2 0.33	1 0.50	16 0.59	23 0.42	267				
ヘルパンギーナ							0 0.00	6				
インフルエンザ	33 4.71	44 2.75	8 0.80	20 2.00		431 9.80	536 5.89	6,619	◎	◎	◎	◎
咽頭結膜熱	3 0.75	2 0.20	2 0.33			15 0.56	22 0.40	147				
流行性角結膜炎						1 0.17	1 0.08	48				
急性出血性結膜炎							0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7 1.75	2 0.20		3 0.50		7 0.26	19 0.35	318		○	○	レ
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)							0 0.00	2				
無菌性髄膜炎							0 0.00	1				
マイコプラズマ肺炎							0 0.00	11				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0 0.00	0				
RSウイルス感染症	12 3.00	1 0.10	5 0.83	1 0.17		3 0.11	22 0.40	437		○	○	○
感染症胃腸炎(ロタウイルス)							0 0.00	0				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)					2						
	川崎病								◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向			
	不明発疹症					3						

※ 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))
塩釜管内 男性1名、女性1名
石巻管内 男性1名
仙台管内 女性1名(第16週)

3類感染症: 報告なし

4類感染症: 報告なし

5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症
仙台管内 男性1名(Enterobacter cloacae complex)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症
仙台管内 女性1名
侵袭性肺炎球菌感染症
石巻管内 男性1名
仙台管内 女性1名
梅毒
大崎管内 男性1名
仙台管内 男性3名、女性1名
破傷風
仙南管内 男性1名

新型インフルエンザ等感染症: 新型コロナウイルス感染症(患者総数)

宮城県(仙台市を除く) 784名
仙台市 650名

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

警報・注意報はありません。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

新型コロナウイルス感染症患者より
石巻管内 第17週採取分 SARS-CoV-2 2件
気仙沼管内 第17週採取分 SARS-CoV-2 1件

感染性胃腸炎患者より
大崎管内 第15週採取分 ノロウイルスGⅡ群 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定	中間報告	
	第14週採取分 (4.3~4.9)	第15週採取分 (4.10~4.16)	第16週採取分 (4.17~4.23)
インフルエンザウイルスA(H3)	1件	0件	1件
サイトメガロウイルス	1件	0件	0件

4. 今週のコメント

【新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ】

県内の第17週の新型コロナウイルス感染症患者数は1,434名と4週連続で増加しています。5月8日から感染症法上の分類が5類に移行しましたが、引き続き注意が必要です。インフルエンザ患者数は前週の596名から536名に減少しています。ゴールデンウィーク明けで学校が再開するなど、感染機会の増加が懸念されるため、今後も動向に注意し基本的な感染対策の徹底に努めてください。

【感染性胃腸炎】

県内の定点医療機関からの患者報告数は前週の196名から240名と増加しています。保育施設等での集団感染事例からはノロウイルスが検出されており、今後も注意が必要です。気候が温かくなると、ウイルスだけでなく細菌を原因とする事例も発生することが懸念されるため、引き続き感染対策の徹底に努めてください。

宮城県定点週報告対象疾病の推移

